

漢方医学のスズメ

京大病院漢方外来 谷川聖明先生監修

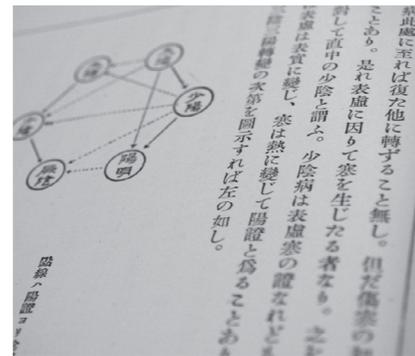
数千年の歴史に基づく日本独自の医学

❖漢方の特徴

漢方医学は、5世紀ごろに中国から伝わった経験医学が日本で独自の発展を遂げたものです。日本の風土に合った医療であるという点も漢方医学の特徴です。

また西洋医学と漢方医学では根本的な考え方が違います。西洋医学では病気を細分化して病気の原因を探り、遺伝子レベルの治療も行います。

一方漢方医学では、患者さん全体を見て治療しようとしています。漢方医は病気そのものより、患者さん自身に関心をもつのです。漢方医はまず患者さんに対し詳細な問診を行います。生活環境や習慣、食生活などいろいろな話を聞きます。そ



▲1800年前に書かれた『傷寒論』。現在の漢方医学の基盤となっている

して患者さんが病気になり、病院に行くことになった背景をしっかりと把握した上で治療するのです。つまり病気を「点」ではなく、「線」として捉えるのが漢方医学の特徴です。

❖漢方が有効な病気

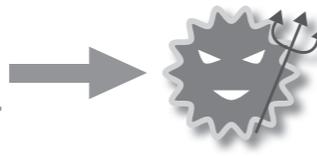
多くの場合、漢方医学は西洋医学的に診断できる病気にも有効です。たとえばインフルエンザです。インフルエンザの薬としては、ウイルスの増殖を防ぐタミフルがあります。これに対し漢方薬には、2000年前から使われている麻黄湯があります。麻黄湯はウイルス自体を退治するのではなく、人間の免疫力を高める薬なので、耐性ができるということはまずありません。そのためタミフル耐性を持ったインフルエンザへの薬としても期待されています。

さらに、漢方医学は西洋医学的に診断できない病気にも有効なことがあります。たとえば胃が痛いので検査したものの、異常が見つからず治療法がないという場合です。漢方医学は、西洋医学とは異なる異常の捉え方をするので、西洋医学では捉えられなかった体のゆがみや心のゆがみを見つけられることもあります。

インフルエンザウイルスに対する効果

麻黄湯

発汗を助け、自然治癒力を高めて、早期治療。ウイルスの増殖を防ぐ効果もあり。



タミフル

ウイルスの増殖を防いで早期治療。自然治癒力を高める効果なし。

両者ともほぼ同等の治療効果が認められる。(福岡大病院・鍋島茂樹先生発表)

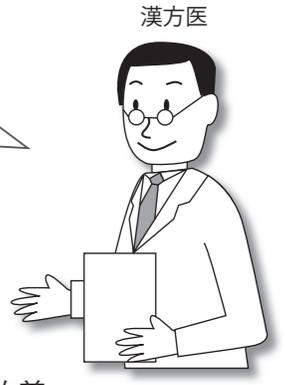
漢方医学の実例～17歳・男性の場合～

17歳・男性



腹痛が続き、高校の授業中も痛みます。それで学校にも行けなくなってしまいました。病院で検査を受けても異常が見つからず、いい治療法がないので、漢方医学を試してみたいと思いました。

話をよく聞くと、学校で周りについていけないことがストレスになっているんですね。となると、単に痛みを取るだけでなく、その背景にある心のゆがみも捉えて治療していきましょう。



悩みを聞きつつ、腹痛を取る桂枝加芍薬湯を処方し改善。学校にも行けるようになった。

谷川聖明先生インタビュー

「漢方医学と西洋医学を融合させ、患者さんが治る機会を増やす総合的な医療を目指したい」



谷川 聖明

医学博士。日本東洋医学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医。漢方医学だけでなく、内科医としての豊富な経験を生かした治療を行っている。現在は谷川醫院の院長を務めるかたわら、京大病院でも漢方外来を行っている。

西洋と東洋の融合

西洋医学的な治療で解決できる問題は、西洋医学的な治療を行えばいいと思います。だけど西洋医学では解決できない問題もあるんです。そういう問題に対して、漢方を用いる手段もあるという認識を広めていきたいですね。漢方医学と西洋医学、それぞれの得意分野を生かした治療が必要だと思います。

この西洋医学と漢方医学の融合は、日本でしかできないことなんです。なぜなら、1人の医者が西洋医学の薬も漢方薬も出せるのは日本だけだからです。中国も韓国も西洋医学の医師と伝統医の免許が別々で、片方しかできない。日本の医師免許は西洋医学も漢方もできる。これを生かして、西洋医学と漢方医学を融合させ、患者さんが治る機会を増やす総合的な医療を目指したいですね。

京大での取り組み

6年くらい前から、全学共通科目『東洋医学入門』の講義をしています。そして2年前に「漢方外来を立ち上げたいので、谷川先生にやってほしい」という話が京大病院老年内科から来たんです。それで去年の4月から外来をはじめました。

京大に来て漢方外来を続けていく中で、人材育成を目標にしています。現在僕は、月に2回京大病院で診察をしています。しかし、僕のように学外から医者を呼んでくるのではなく、できれば漢方診療をできる医者が京大の中から育ててほしいのです。確かにすぐ実現できることではありません。でも10年、20年かかっても、京大に漢方医学をしっかりと根付かせたいですね。

—ありがとうございました。